

**製品名: CDK7 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86319**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:39 kDa; Observed MW:39 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CDK7
別名	CAK; CAK1; HCAK; MO15; STK1; CDKN7; P39mo15
遺伝子 ID	1022, 12572, 171150
SwissProt ID	P50613, Q03147, P51952
免疫原	ヒト CDK7 の組み換えタンパク質

**背景**

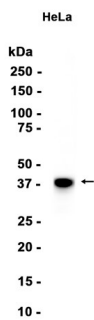
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、サイクリン依存性タンパク質キナーゼ（CDK）ファミリーのメンバーです。CDK

ファミリーのメンバーは、サッカロミセス・セレビシエ cdc28 およびシゾサッカロミセス・ポンベ cdc2 の遺伝子産物と高い類似性を示し、細胞周期進行の重要な調節因子であることが知られています。このタンパク質は、サイクリン H および Cdk 活性化キナーゼ (CAK) として機能する MAT1 と三量体複合体を形成します。転写開始と DNA 修復に関与する転写因子 TFIIH の必須構成要素です。このタンパク質は、転写制御と細胞周期を直接結びつける役割を果たしていると考えられています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



CDK7 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。